

ICTを活用した授業の可能性 -深川市の状況-

▶ 本市のICT環境

- ▶ タブレット端末：Chromebook（クロームブック／Google）
- ▶ ICT機器
 - ▶ 小学校に電子黒板、中学校に大型モニタ（各65インチ）
 - ▶ Google Cast（無線でタブレット端末の画面をモニタに表示）
- ▶ 無償アプリ（主なもの）
 - ▶ Google Workspace for Education（ワープロ、表計算、プレゼン等）
 - ▶ Canva（画像や動画編集、プレゼン）
 - ▶ タイピングソフト
- ▶ 有償ソフト
 - ▶ 小学校に指導者用デジタル教科書 ※他市町村ではほとんど導入されていない
 - ▶ 授業支援・デジタルドリルオールインワンソフト（ミライシード／ベネッセ）

タブレット端末だけでは何もできない
そこでアプリなどの環境が必要

ICTを活用した授業の可能性 -活用方法-

▶ 授業での活用の例

- ▶ 一斉学習：先生が児童生徒に教える際に使用
- ▶ 個別学習：調べ学習の調査、まとめ。絵画などの作品作成 など
- ▶ 協働学習：児童生徒同士で意見の交流、意見のまとめ など
- ▶ 遠隔授業：距離に関係なく他校や大学などと接続した授業が可能
- ▶ オンライン授業：自宅から授業を受けられる

▶ 授業以外での活用の例

- ▶ 修学旅行などの校外活動で写真、その場でメモなど
- ▶ 児童・生徒会
- ▶ 不登校、いじめの早期発見：心の健康観察（COCOLOプラン）

ICTを活用した授業の可能性 -効果とこれから-

▶ 効果

- ▶ 楽しい授業、わかる授業になる
 - ▶ 「子どものICT利用に関する調査2023」（別添資料）
 - ▶ 小～高校生の約8割が「ICT機器を使う授業は楽しい」と回答
- ▶ 物理的な距離の制限が緩和

▶ 期待できる効果

- ▶ 不登校の未然防止
 - ▶ 学業の不振も要因のひとつ
 - ▶ 学校との繋がる方法が増える
 - ▶ オンライン、デマンド授業、テレビ会議システムで担任と話せる
 - ▶ 心の健康観察（国のCOCOLOプランに導入、活用を記載）

▶ これから

- ▶ これまでできなかったことが、できるようになっている。
- ▶ ICTの進化とともに、可能性は広がる

田舎でも
都会に負けない
教育ができる